

Course Title 科目名	[Special Topic] International Law seminar through Films [特殊講義] 専門演習I(33)			Instructor 担当者	TAKASHIBA, Yukiko 高柴 優貴子		
Semester 学期	Fall 2022	Language of Instruction 使用言語	JAP 日	Credits 単位	2	hrs/wks 時間数/週	2

【Course Objectives: 授業の到達目標】

本ゼミでは、将来国際法の知見を用いて海外の人々と様々な案件に取り組めるようになるには今何が必要か共に考え、そこから逆算した種々のトレーニングを行う。国際法をどう用いるかを考えながら学ぶには、国際法が規律対象とする国際社会に対する関心を磨いていく必要がある。

専門演習Iの段階では、①映画を通じ、国際法がいかに様々な境遇の人々の抱えるストーリーに意味を持つのかに気づき、②関連資料(UN決議、報告書、各国声明等)を読み込むことで国際法の実際の使われ方に関する感覚を養い、③①→②を経て練られた自分の視点を論理的に発表することで参加者同士学び合う習慣を身につけることを目指す。

また、将来設計のヒントを得るため、適宜実務家を講師に迎えた実践的なワークショップを行う。

【Course Summary: 授業の概要】

ゼミの進め方は以下の通り:

- 1)ゼミ時間中に10分程度、翌週に取り上げる作品を鑑賞し、要約の観点について説明する。
 - 2)【課題1】ゼミ時間外に残りを鑑賞し、事前配布のメモを参考に各自要点をまとめ、ゼミ前日までに課題を書面で提出する。
 - 3)【課題2】作品のテーマに関連する国際法上の論点を扱う配布資料を予習し、ゼミ生間で事前相談の上、洗い出した疑問点(質問表)をゼミ前日までに提出する。
 - 4)ゼミ当日に、各自準備した【課題1】と【課題2】に基づき発表・ディスカッションを行う。
*ゼミメンバー同士で検討し疑問点を明らかにしてくれることを毎回のゼミ参加の条件とする。
- なお、遠隔授業を行う場合は、オンデマンド・コンテンツに同時双方向テレビ会議システムを組み合わせた型とする。

【Study Required outside Class (Preparation etc): 事前・事後学習】

【課題1】ゼミ時間外に残りを鑑賞し、各自要点をまとめ、ゼミ前日までに課題を書面で提出する。

【課題2】作品のテーマに関連する国際法上の論点を扱う配布資料を予習する。

【Class Outline: 授業計画(各回の授業内容)】

Session 1	オリエンテーション: narrativeとは何か/課題の確認/翌週の映画と要約ポイントの紹介
Session 2	映画の分析/関連する国際法資料の読み込み/翌週の映画と要約ポイントの紹介
Session 3	映画の分析/関連する国際法資料の読み込み/翌週の映画と要約ポイントの紹介
Session 4	映画の分析/関連する国際法資料の読み込み/翌週の映画と要約ポイントの紹介
Session 5	映画の分析/関連する国際法資料の読み込み/翌週の映画と要約ポイントの紹介
Session 6	映画の分析/関連する国際法資料の読み込み/翌週の映画と要約ポイントの紹介
Session 7	映画の分析/関連する国際法資料の読み込み/翌週の映画と要約ポイントの紹介
Session 8	映画の分析/関連する国際法資料の読み込み/翌週の映画と要約ポイントの紹介
Session 9	映画の分析/関連する国際法資料の読み込み/翌週の映画と要約ポイントの紹介
Session 10	映画の分析/関連する国際法資料の読み込み/翌週の映画と要約ポイントの紹介
Session 11	映画の分析/関連する国際法資料の読み込み/翌週の映画と要約ポイントの紹介
Session 12	映画の分析/関連する国際法資料の読み込み/翌週の映画と要約ポイントの紹介
Session 13	映画の分析/関連する国際法資料の読み込み/翌週の映画と要約ポイントの紹介
Session 14	映画の分析/関連する国際法資料の読み込み/翌週の映画と要約ポイントの紹介

【Required Textbooks and Course Materials: 教科書(購入必須)】

国際条約集(有斐閣)

【Recommended Textbooks and Course Materials: 参考図書】

- ・初日に扱う映画のリスト(全て図書館他蔵)を配布する。
- ・関連する国際法資料はMoodle上で公開する。

【Grading Criteria: 成績評価の方法】

- ・課題の入念な準備(事前提出)、発表ディスカッション(アウトプット)への積極的な参加を求める。
- ・ゼミへの参加具合により成績評価を行うため、3回以上の欠席は不可とする。

【Note: 履修上の注意】

- 1) 普段から国際ニュースに関心を持つこと。
- 2) 映画を批判的に鑑賞する訓練に関心を持つこと。
- 3) 教員と一対一の関係のみならず、ゼミメンバー同士積極的に議論して共に学ぶスタイルを身につけること。

We will explore the world of International law through the prism of films. Participants are expected to watch the designated films (available at the Library) before coming to class. We will aim to pick up 6 films in total.